【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年3月28日(2023.3.28)

【公開番号】特開2021-170511(P2021-170511A)
【公開日】令和3年10月28日(2021.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2021-052
【出願番号】特願2020-73844(P2020-73844)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ 10/48(2006.01)
Ｈ０２Ｊ 7/00(2006.01)
Ｇ０１Ｒ 31/367(2019.01)
Ｇ０１Ｒ 31/3842(2019.01)
Ｇ０１Ｒ 31/388(2019.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ 10/48 Ｐ
Ｈ０１Ｍ 10/48 ３０１
Ｈ０２Ｊ 7/00 Ｘ
Ｇ０１Ｒ 31/367
Ｇ０１Ｒ 31/3842
Ｇ０１Ｒ 31/388

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月17日(2023.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
蓄電池３０は機器４０に電力を供給する。本図に示す例において、残容量推定装置２０及び蓄電池３０は機器４０の中に設けられている。一例として、機器４０は、例えば電動車両などの車両である。ただし、蓄電池３０が家庭用の蓄電池の場合、機器４０は家庭で用いられる電気機器となる。この場合、蓄電池３０は機器４０の外部に位置する。また蓄電池３０は、系統電力網に接続していてもよい。この場合、蓄電池３０は、供給される電力を平準化するために用いられる。具体的には、機器４０は、電力が余っている時には電力を蓄え、電力が不足している時には電力を供給する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５７】
その後、モデル生成部１５０は、実績記憶部１２０から、実績データのうち訓練データとして用いられなかったデータを読み出し、このデータを用いて、ステップＳ４０で算出したモデルの精度を検証する。具体的には、モデル生成部１５０は、生成したモデルに対して電流、電圧、及び温度を含むデータを入力し、残容量の算出値を得る。そしてこの算出値と、実績記憶部１２０から読み出した残容量の実績値との差を算出する（ステップＳ５０）。この差が基準値以下の場合（ステップＳ６０：Ｙｅｓ）、モデル生成部１５０は、生成したモデルをモデル記憶部１６０に記憶させる（ステップＳ７０）。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
　また本図に示す例において、事前処理部１４０は、目標値となる１×ｎの行列に対しても、外周にダミー値を加え、当該行列の行および列の少なくとも一方を拡張している。そして事前処理部１４０は、拡張後の行列に対して、入力データと同じようにデジタルフィルタを適用する処理を行っている。そして、この処理を繰り返すことにより、加工後の目標データを生成している。なお、目標データを加工するときのデジタルフィルタは、入力データを加工するときのデジタルフィルタと同一であるのが好ましいが、異なっていてもよい。本図に示す例において、加工後の目標データは１行１列になっているが、これに限定されない。